

中央大学高等学校

■ 修学旅行 ～沖縄・石垣島へ

今年の修学旅行は、3月4日(火)～8日(土)まで沖縄本島・石垣島に行ってきました。本校では、行き先に関しては、修学旅行委員がプレゼンテーションを行い、学年全員の投票によって決定します。その後は、新聞を発行するなど、旅行への意識を高めていきました。初日はひめゆり記念資料館を見学し、宿舎において戦争の体験を聞くという平和学習プログラムです。現地に行き、経験された方からのお話は生徒の心に衝撃を与えたようです。2日目は、クラス別に分かれて黒糖作りなどの体験学習を行った後、美ら海水族館を見学。3日目からは場所を石垣島に移します。川平湾の美しさに見とれ、4日目へ。ダイビング、シュノーケリング、竹富島サイクリング、西表周遊の各コースが用意されており、それぞれ南国の世界を思い思いに楽しみまし

た。早くも最終日。本島に帰り、国際通りの自主研修を行いました。家族へのお土産もしっかりと買って無事、羽田へ帰着しました。

■ キャリア講座 ～自ら気づける人へ

今年で3年目になるキャリア講座ですが、その特色は、志の高い人物を輩出する人間教育の側面が強いということです。企業から出された課題を解くのではなく、ファシリテータからアドバイスをいただきながら、視野を広げ、社会の役に立つことを見つけてゆくことに重点が置かれています。課題発見から解決方法の提示まで、試行錯誤し失敗を重ねるなかで成長し、全校生徒を前にした発表では、実に堂々と自信に満ちた態度を見せてくれました。最後にファシリテータからコメントを頂戴し、充実した講座となりました。すでに新年度に向け、素晴らしい講座になるよう企業の方も情熱を傾けています。



石垣島にて



今年で3年目を迎えるキャリア講座

中央大学杉並高等学校

■ イギリス・オックスフォード研修

2月16日(日)～3月3日(月)にかけて、49期生3年生対象のイギリス・オックスフォード研修が行われました。800年の歴史を刻むオックスフォード大学 Union で、英国の歴史・教育・哲学・法律といった分野を学びます。研修のなかでも特にオックスフォードの学生とのセッションは、将来世界を引っ張っていく優秀な学生たちと対面できるチャンス。はじめは、緊張したり戸惑っていたりしていた生徒たちも、徐々に積極的に自分の意見を述べるようになっていきます。研修の最後には、出発前の段階から関係する資料を収集・精査して準備を進めてきたプロジェクトワークの総仕上げとして、それぞれのテーマごとに英語でプレゼンテーションしました。本校のオックスフォード研修は文字通りの課題解決型学習 PBL (= Project-Based Learning) です。

■ 3年生の東京都内研修

4月23日(水)に、50期生の都内研修が行われました。生徒たちはグループに分かれ、JICA 国際協力機構・ゼンショーホールディングス・東京地方裁判所・東京都庁・東京証券取引所・日本銀行・JAL 羽田工場・富士通・理化学研究所・第一三共・読売新聞・博報堂を訪れました。企業や公官庁に対して漠然としたイメージしかなかった生徒たちも、各企業の取り組みや世の中のしくみを知ること、社会に出ていく不安が期待へと変わってきたようです。「ここで働きたい!」と思える企業の訪問を通じて「なりたい自分」が見えてくるかもしれません。博報堂で言われたのは「粒ぞろいより粒違い」の大切さ。いずれそれぞれの道のスペシャリストとして社会を担えるよう、「粒違い」の生徒たちの学びの道は続きます。



現地の学生とセッション



JICA 国際協力機構にて

中央大学附属中学校・高等学校

台湾・龍山寺にて



「最優秀賞」受賞の中学生生物部



■ 台湾交流プログラム

附属高校は国際交流プログラムの柱の一つとして、かねてよりアジアの学校との交流を模索していました。昨年度、台湾の新北市立海山高級中学との交渉が成立し、2013年末に第1回目のプログラムの実施に漕ぎ着けました。

中学生を含む生徒16名が、12月25日(水)に海山高級中学を訪問、午前は卓球親善試合・伝統工芸体験・授業体験、午後は学校付近の史跡をグループで探索。台湾の学生は非常に友好的で、主に英語を用いて交流をしました。附属生一行は4泊5日の日程中、台湾の古都「台南」を訪れ、「台北」では故宫博物院、台湾総統府などを見学、台湾の歴史に触れることもできて、実りあるプログラムとなりました。

■ 生物部 研究発表会で最優秀賞

3月16日(日)に早稲田大学で「首都圏オープン生徒研究発表会」が開催され、審査の結果、本校中学生物部「ムササビの食性の研究」が最優秀賞に、本校高校生物部「ムササビの活動の研究」が優秀賞に輝きました。今回は口頭発表、ポスター発表において、物理・化学・生物・地学分野から70テーマの研究発表があり、どの学校も非常にレベルの高い発表でした。本校生物部の高尾山での夜間における継続した研究が評価されたもので、今後さらに研究内容を深めていきたいと部員は抱負を述べていました。

中学・高校ともに、運動部だけではなく文化部でも部活動が熱心に行われています。普段からの継続した活動が大きな成果をもたらしたものといます。

中央大学附属横浜中学校・高等学校

高校も共学化がスタート



料理教室後に記念撮影



■ 高校共学化スタート

1908年、本校は「横浜女子商業補習学校」として創設されました。2012年度より中学で男女共学化が導入され、2014年4月より高校でも男女共学化がスタートしました。4月6日(日)に入学式が行われ、男子第1期生となる32名の男子生徒が入学しました。これまで女子生徒だけだった校舎3階の高校生フロアでは男子生徒が存在感を放っています。

■ ニュージーランド修学旅行生が来校

4月23日(水)～25日(金)、ニュージーランドのノースコートカレッジより日本修学旅行団(生徒8名・教員等3名)が本校を訪問しました。本校到着後に行われた歓迎会では、ノースコートカレッジ生徒による日本語での挨拶・自己紹介、

本校バトン部による歓迎のパフォーマンス等が行われ、非常に活気に溢れた時間となりました。

ノースコートカレッジの生徒は日本の学校の授業体験を目的に本校を訪れましたが、HR・授業以外にも、1日目には本校茶道部による茶道教室、2日目には料理部・英語部が協力して行った日本の家庭料理教室、3日目には高3の生徒3名が帯同した鎌倉散策が行われ、短い日程でしたが、本校生徒が中心となって充実したひとときを提供することができました。

本校は2014年度より国際理解教育の推進を本格的にスタートさせましたが、この素晴らしい経験を機に学校全体が“GO GLOBAL!”となることを目指しています。